



プラスチック対策の推進に係る取組について

令和5年3月23日

プラスチック対策検討会

1 概要

プラスチック対策検討会では、関西が一体となってプラスチック対策（プラスチック代替品の開発支援・普及促進、プラスチックごみ散乱・流出抑制等）を進め、地域創生につなげることを目的として、令和4年度に以下の取組を行った。

2 主な取組内容

(1)プラスチック代替品の普及可能性調査

調査概要

1年目（令和2年度） 基礎情報・課題・ 方向性の整理	2年目（令和3年度） ニーズ調査・ モデル事業検討	3年目（令和4年度） モデル事業実施・ 情報集のとりまとめ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使い捨てプラスチック製品の消費・資源循環の実態把握 ・ プラスチック代替品の技術開発・普及の課題整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替品の社会受容性向上に向けた消費者ニーズや課題の整理（有識者・企業・業界団体ヒアリング） ・ 社会受容性向上モデル事業の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会受容性向上モデル事業の実施 ・ 代替品の技術確立、普及、資源循環システム改善に向けた対応策の検討 ・ 事業者・自治体が使用可能な情報集のとりまとめ

令和4年度は、プラスチック代替素材製品の普及に向けた自治体や事業者の取組を促進するために、普及課題への対応策や様々な先進事例を盛り込んだ情報集を作成した。

情報集は、プラスチック対策検討会ウェブサイトに掲載するなどし、域内府県・市町村や事業者等に周知する。今後も最新情報が提供できるよう更新を行うとともに、研修会・セミナーの開催等を通じて利用拡大を図っていく。

生分解性プラスチック製
飲料容器



竹製歯ブラシ



(2)プラスチックごみ散乱状況の把握手法等調査

調査概要

1年目（令和2年度） モデル基本構造の検討	2年目（令和3年度） モデルの構築・検証	3年目（令和4年度） モデルの検証・ マニュアル作成
<ul style="list-style-type: none"> ごみ散乱情報の収集 推計手法の情報収集 有識者ヒアリングを行いモデル基本構造の検討 	<ul style="list-style-type: none"> モデル構築、検証・補正（域内で複数の区域を選定し、実測値と推計値を比較） 	<ul style="list-style-type: none"> モデルの検証 利活用マニュアルの作成

令和4年度は、自治体や地域団体等による散乱ごみの発生源対策の取組を促進するために、プラスチックごみ散乱状況推計モデルを構築するとともに、推計結果の活用方法などを盛り込んだ利活用マニュアルを作成した。

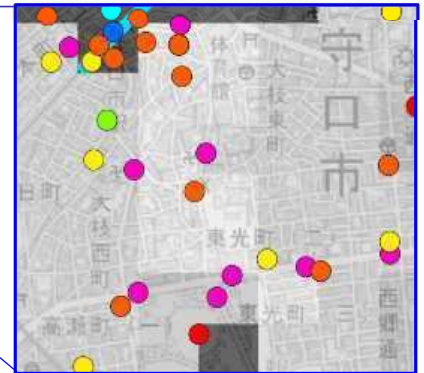
推計結果及び利活用マニュアルは、プラスチック検討会ウェブサイトに掲載するなどし、域内府県・市町村等に周知する。今後も推計モデルの精緻化を行うとともに、研修会の開催等を通じて利用拡大を図っていく。

推計結果の表示例



拡大図

(グレーの濃い部分がごみの多い場所)



(3)プラスチック対策プラットフォームの開催

令和4年度は「プラスチック対策プラットフォーム」を3回開催し、意見交換や情報の共有を行った。

<プラットフォームメンバー>

関西広域連合構成府県市、（一社）全国清涼飲料連合会、
（一社）日本フランチャイズチェーン協会、PET ボトルリサイクル推進協議会、
日本チェーンストア協会関西支部

第1回会議 令和4年 11月 15日(火) WEB 参加者数:36名

【テーマ】

プラスチックごみ対策に係る自治体連携の取組と各参加団体の取組事例の情報共有・意見交換

【主なプログラム】

1 話題提供

「プラスチックごみ対策と自治体連携」
(株式会社ピリカ)

2 プラットフォーム構成団体による報告

「清涼飲料業界としての行政との連携による取組事例～広島県 GSHIP～」
(一般社団法人全国清涼飲料連合会)

「環境省ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業の取組内容について」
(大阪府、兵庫県)

「広域産業振興局の取組」

(関西広域連合広域産業振興局)

<主な意見交換内容>(アンケート結果等より)

- ・ 広域産業振興局での取組を知ることができ、商工部局との連携を今後さらに深めたいと思うきっかけになった。
- ・ 広島県の事例が印象深かった。本県でも、県ならではの強みと企業・関係団体との連携による長期的かつ効果的な資源循環の取組を行っていきたい。
- ・ 今後も官民連携事例や市町村等の先進事例を発表内容に含めていただければ、新規事業の検討や市町村への情報発信に活用できるので、継続を希望する。
- ・ 自治体で取り組む施策のアイデアには限りがあるので、ユニークな取組・サービスを展開している企業や団体の事例・提案を聞く機会が増えると良いのではないか。
- ・ 関西広域連合でも、企業と連携して、関西圏全体でプラスチックの資源循環について取組ができれば面白い。

第2回会議(プラスチックごみゼロ・食品ロス削減シンポジウム) 令和4年 12 月 22 日(木)

(※広域環境保全局と共催) WEB 参加者数:85 名

【開催趣旨】

プラスチックごみについての現状・課題の周知と問題意識の醸成。ごみ削減の取組の情報提供を通じて、事業者、団体、行政および住民による実践行動を促す。

【主なプログラム】

1 基調講演

「みんなのプラ・イド&食ロスゼロ革命 ～行動を変える時がきた～」

(京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利美鈴 氏)

2 事例発表

「循環型ショッピングプラットフォーム『Loop』の運用による使い捨て文化からの脱却」 (Loop Japan 合同会社)

「漁業創生や食品ロス削減に繋がる『天然魚プロジェクト』と今後のプラスチックごみ削減」 (くら寿司株式会社)

「様々な主体との連携によるプラスチックごみ削減に向けた取組の推進」

(関西広域連合プラスチック対策検討会)

3 パネルディスカッション「ライフスタイルの転換を促すために必要なこと」

コーディネーター：京都大学大学院地域環境学堂 准教授 浅利美鈴 氏

パネリスト：第2部事例発表者

<主な意見交換内容>(アンケート結果より)

- ・ Loop Japan さんなどの商品や量り売りをなるべく利用しようと思った。
- ・ いつも持ち歩くカバンの中を改めて見てみると、プラスチック製品が多く驚いた。この先ごみとなるプラスチック製品を必要以上に増やさないように実践する。
- ・ 実際にプラスチックを製造販売している方々の最新のご意見も聞ければなお良かった。

第3回会議 令和5年3月10日(金) WEB 参加者数:27名

【テーマ】

構成府県市の施策とプラスチック代替品開発の先進事例の情報共有・意見交換

【主なプログラム】

1 構成団体の取組事例共有

「KOBE PLASTIC NEXT について」

(神戸市)

「令和4年度プラスチック対策検討会 調査事業について」

(プラスチック対策検討会)

2 話題提供

「お米を使ったプラスチックに関する取組事例紹介」

(株式会社バイオマスレジンマーケティング)

<主な意見交換内容>(アンケート結果等より)

- ・ 神戸市の発表における詰替えパックの水平リサイクルは大変興味深いことから、引き続き、技術開発・製品化状況を情報共有いただくとありがたい。
- ・ バイオマスプラスチック製品の開発が農業支援にもつながるという視点は非常に重要であり、プラスチックごみ問題は、観光、教育など他分野との連携が必要だと再認識した。
- ・ 世界のプラスチック対策に取り組む企業の動向や画期的な事例等も聞きたい。
- ・ 行政や関連団体だけでなく、さらに多くの方が講演を聞くことができれば良い。